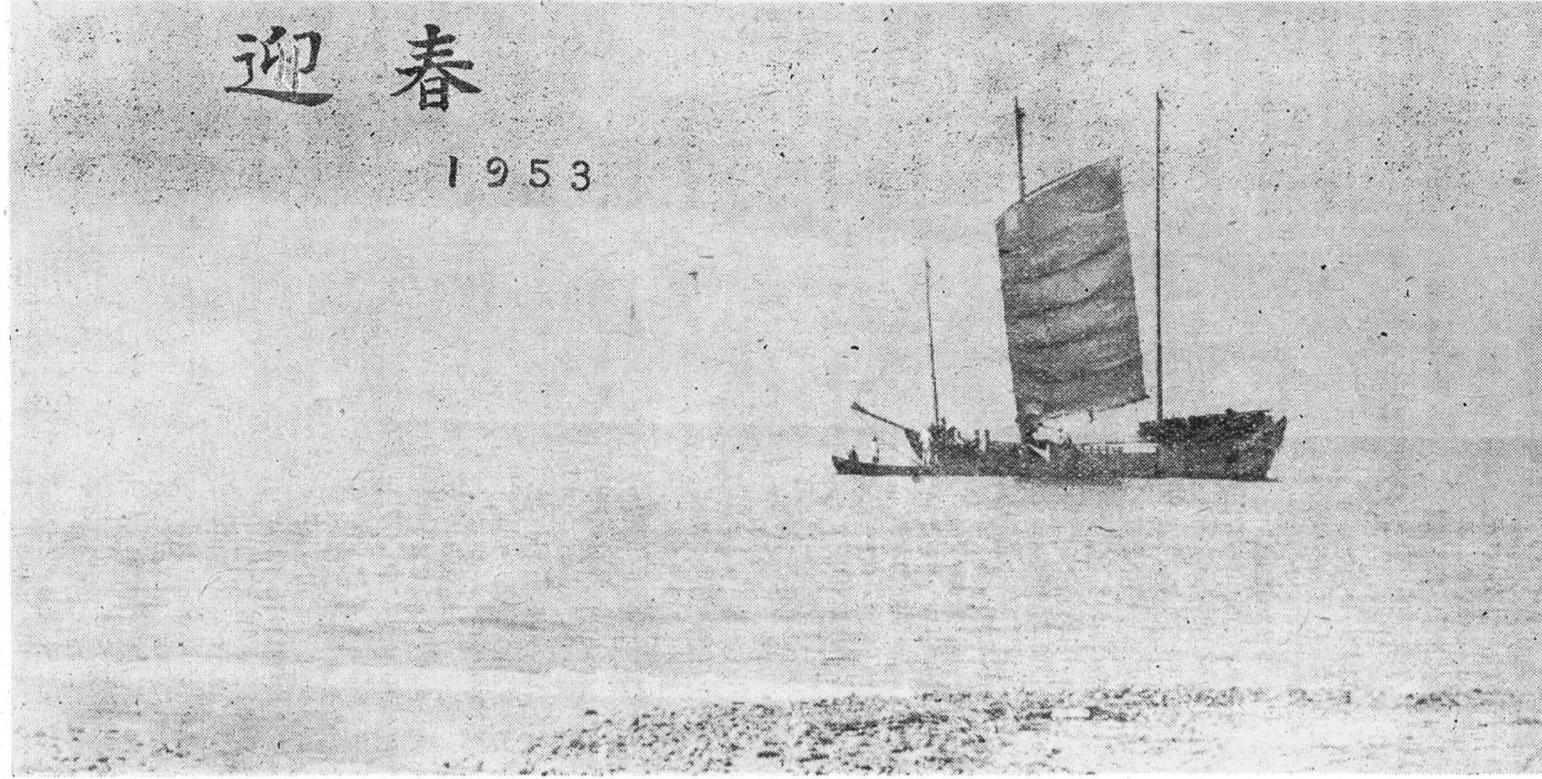




発行所 魚津市田方町80番地 魚津市役所 秘書人 事 課 編輯發行人 清河七良 (毎月1日・15日発行)

魚津市下村木町 文興印刷株式会社

勅題「船出」に因んで



# 年頭の辞

## 金光邦三

市民の皆様お目出度う御座います。年々歳々迎えては送る、この元日ではあります。當魚津と致しましては、市制施行以来はじめてのお正月であり、殊更意義深きものを感じる次第であります。



旧年中におきましては、長年の懸案でありました魚津市誕生に、或いは発足間もない七月一日の大洪水に關係各官廳をはじめとし、市民各位の絶大な御協力を賜り、今日にいたりましては感銘のいたりであり、深く感謝の意を表する次第であります。今や世界は口に平和を唱えながらも、二つの大きな潮流の中に押し流され、好むと好まざるとに拘らず勢力圏の擴大と自國防衛の爲に大軍であり、既に第三次大戦の様相顯著なものがあつてあります。

この秋にあたり、驕つて我が國の現状をみます時、昨年四月平和條約の発効をみたといふものゝ自立に伴う經濟力の貧困と、占領治下に甘受した卑屈な劣等感から脱けきれず、依然として自主性のない依頼心に自己満足し對岸の緊迫すら凝視しようとしないう様であります。

私達はこの新たな一九五三年の出発にあたり、先もつて大いに戒心し奮起すべきであると存じます。昨年度におきましては新市にふさわしい新鮮味をも

つて市政を運営してゆきたいと念願いたしましたのでありますが、実際には各地區夫々多年に亘る計画があり要望があつて之を市全般として総合的に再検討を加えましても尤もなりとする事項が多々あり消極的にながれざるを得なかつたところを

# 新年を迎えて

## 市議會議長 春日 祐一

昭和二十八年の新しい春を迎え、お目出度う存じます。元且になると何時もながらお目出度うと云います。元且といつても昨日の今日であり、明日の今日でもある開闢以來から未來永劫へのたんとと流れる一日として別段変わったところもない筈であります。正月になると何だか目出度い浮いた氣持になることは確かであります。



人生は平々凡々のんべんだらりと日を送るより、そこに何かの區ざりとか刺激がなくてはならない。そして過去を反省し、或は感謝し、そして將來への希望な

氣持から元且の祝賀の意義があるのではないかと存じます。そこで旧臘昭和二十七年を回顧致しますと、國家的には、講和発効による獨立の緒年の年であり、わが市にとりましては多年の大懸案であつた一町十一ヶ村の合併が成つて市制の実現を見た眞に意義深い歴史的な年であつたのであります。この七、一水害による未曾の大災厄は、市制実施第一歩の出鼻を崩され、市民をして啞然たらしめたのであります。然し國及び縣當局の絶大な御盡力と市民の携まざる燃ゆる復興意欲により復旧事業も緒につき着々と進捗しつゝあることは喜ばしい次第でこの御努力に對し敬意を表する次第であります。昨年は市として斯うした多事多彩の



市長 金光邦三  
助役 寺田太吉  
助役 平澤榮次  
収入役 職務代理者 大村健彦

- 魚津市議會議員
- 議長 關口 弥一
  - 副議長 河内 則一
  - 議員 濱 多與三郎
  - 明 石 寛二
  - 紙 谷 作造
  - 佐 伯 新作
  - 千 田 源次郎
  - 鉦 田 平吉
  - 淺 尾 久 矩
  - 高 木 源 二
  - 河 崎 直 義
  - 本 田 正 信
  - 朝 野 朔 郎
  - 盛 永 五 作
  - 伊 東 直 二
  - 山 本 龍
  - 森 忠 義
  - 吉 田 賢 良
  - 石 崎 平 兵衛
  - 窪 田 杉 次郎
  - 小 林 宗 作

# 新春を迎えて

魚津商工会議所  
会頭 吉田忠雄

明けまして御芽出度う御座います。  
昭和二十八年の初春を迎え、市民の皆様は紙上をかり御挨拶を申し上げる機会を得ましたことは、私の實に喜びにたえない處であります。  
終戦後滿七年と五ヶ月にたりますが初めて「獨立日本」としての御正月を迎えたいわゆるめでたきこと、この目出度いことはありませぬ。又魚津と致しましては、待望久しきものがありまして、市制の實現を見ました此處に初めて迎えた意義深いお正月であります。爲に魚津市民にとりましては三重のお目出度、こんな喜ばしい正月は度々あるものではありませぬ。  
私は市民の皆様と共に本當に悦び又この二十八年度

## 年頭に當つて

市農業協同組合  
連絡協議会  
会長 杉山博吉

謹んで新年の御祝辭を申し上げます。  
全國に特異な田園都市として発足した魚津市は、その發展の方途として農業の振興を基礎とすべきこととは申すまでもないが、積雪寒冷作地帯に属する魚津市農業の開發には幾多の爲すべき事業が山積してゐるのであります。  
農業生産力の増進と農民の經濟的、社会的地位の向上等農村振興を使命とする私達の責務は重大なるを痛感するのであります。  
新年の初頭に當り、農協運動の原則である責任、信義、誠実の三則を貫くことと一層の努力を傾倒することをお誓いすると共に農民各位の絶大なる御協力をお願い致します。



## 漁業界の立場から

魚津漁業協同組合  
組合長 中村元次郎  
我々は市制の實現をみてから、最初の新年を迎え、幸ひ市の産業も次第に向上し、一般に我々の日常生活もゆとりと潤いが、できたことは事實であります。然も一九五三年は獨立後最初の新年でもあり、これ迄のいづれの年にも増して、

てはならぬ様に強いられてきたものが、その後世界の情勢が大いに變つて参りまして、今や我が國は世界の一等國ともなれ、又アジアの中心勢力ともなれる希望に輝く日本と相成つて参つたのであります。  
これ一重に我が民族の優秀性を示すものであり、御願ひますに、終戦直後のあの悲惨な、食うに食なく、着るに衣なく、住むに家なき状態から、今日ほど豊かに食つてゆけ、衣類も豊富に出廻り、住宅も不充分ながら相當出来ました。  
又日本のめばしい大都市が殆んど戦災の爲にこれ亦悲惨な有様であつたのが、今では見事に復興してきております事は実に喜ばしいこととあります。  
終戦直後日本人は四等國民といわれ、商船なら七千吨以上のものを保有してはいけない、速力は二ノット以上のものを持つてはいけない、紡績なら二百萬圓以上持つてはいけない等といわれまして、世界のど

我が國の將來にとつて希望に満ちた年でありませぬ。富山縣における唯一の水産都市である魚津市の水産業も凡ゆる分野に拂つて發展しており関係者の努力と、協力によつて、生産も逐年増加してきたことは誠に喜ばしい。然しながら、敗戦後の今日、漁業生産の上にも多くの制約をうけており、我々魚津市の漁民も狭い漁場先漁場を如何に綜合的に且つ高度に利用し、如何にして生産の増進を圖るか、當面の問題となつてゐるのであります。水産業は農業と共に魚津市にとつて、最も重要な産業であるが、他の産業に比較して、文化的にも經濟的にも劣り、特にレベールが低いといわれてゐるが遺憾

## 「故郷の山河」

群馬 高野宗久

市制施行後初めての正月をお迎えになる魚津市の皆様におたよりをする機会を興て下さつたことを感謝いたします。  
去る十月廿四日東京の南關で催された魚津市に出席し、多数の先輩後輩にお会いし、更に、金光市長、魚津高校校長、市議の濱岡さんにお会いすることのでき、なつかしい魚津のお話を聞きほんと嬉しく



……故郷魚津を想ふ……

## 我が魚津を想ふ

能代 大島三三郎

自分を産み育てて愛し育ててくれた故郷ほど、なつかしいものはない。私達のやうに他郷に住むものにとつてはひとしほその感が深い。時にふれ折にふれてふるさとの山河を思い、この魚津の成長を心から念じてゐます。  
わが魚津もいまや希望の市制なりよいよ遠大なる理想をかざして繁榮の彼岸に船出したわけである。まことに「喜びにたえない」ことである。わが市百年の大計を樹立し發展の基礎を固め、魚津市を大いに発展させるから金光市長

だらうか、上下水道は計画されてゐるから、よやく洪水の改修は着手されたかしら、自動車の通行は増え多くなつたでせうが、バス一台で道中一杯だつた國道、縣道はそのままではないか、穴ボコが多かつた舗装は立派になつたから、といふことでした。  
また、市民の皆様によつていただくことが多い様です。住みよい、綺麗な魚津市を早くみたいものです。以前の魚津町は今度合併された十一ヶ村をお客にした商業都市であつた様に思ひます。戦後の日本は何としても生産が第一と考へます。十一ヶ村を含む地域

## 「ふるさと」

仙台 宇田新太郎

毎月御送りの魚津市廣報を拜見し市長始め市民の方々の御努力により益々よい市に發展しつゝある事を嬉しく思ひます。月日のたつのは今更に速く、私が東北の仙台に來てもう三十年以上になります。然し何んといつても「心のふるさと」は小学校、中学校時代を送つた魚津です。  
私が魚津中学校にいました當時魚津の有志でつくられていた修辭会というものがあつた。これは辯論の練習が目的だつたと記憶してゐます。中学生でした。が氣焔あたるべからず、仲々の猛者がいました。そのうちでも最も光つてゐたのは現魚津市長の金光さん、

長官の責任たるや重大といわねばならない。金光市長の御健在を祈るや切である。私は現市長がすぐれた人材であることを信じます手腕力に大きく期待してゐる。構想を練られ歩み一つその實現に努力してゐらることを願ひし限りである。  
人の和が大切  
金光市長は全國にみても市長としての實績が充分であつて經歷よりして申分ない人である。加ふるに名聲たかき寺田助役あり練達な平沢助役ありその他職員陣容を眺めると有能な方が多い。さりながら市長



- 魚津市選挙管理委員会
- 委員長 林 秀雄
  - 委員 高見源二
  - 委員 植木弥一
  - 委員 清河七良
- 魚津市教育委員会
- 委員長 高橋 幸作
  - 副委員長 高瀬 幸作
  - 委員 中島 金二
  - 委員 黒瀬 宗平
  - 委員 濱多 由利
- 魚津市公平委員会
- 委員長 西田 源次郎
  - 委員 伊東 清一
  - 委員 島澤 昌作
- 長谷川作次郎  
黒瀬宗平  
朝野信治  
高橋與次郎  
濱岡弥次兵衛  
住吉久太郎  
大森久雄  
三吉助之丞  
寺田信一 (議席順)



